

## 令和3年度第1回紋別市総合教育会議録

- 1 日 時 令和3年4月15日（木）午後3時00分～3時34分
- 2 場 所 紋別市役所 市長応接室
- 3 出 席 者 紋別市長 宮 川 良 一  
紋別市教育委員会教育長 堀 籠 康 行  
紋別市教育委員会教育長職務代理者 小 林 正 男  
紋別市教育委員会委員 上 林 善 證  
紋別市教育委員会委員 渡 邊 孝 博  
紋別市教育委員会委員 古 屋 真由美
- 4 構成員以外の出席者 総務部企画調整課長 竹 本 幸 孝
- 5 事務局関係 教育部長 佐 藤 健 吾  
学務課長 仲 条 憲 明  
学務課主幹（学校教育担当） 山 田 きわこ  
学務課指導主事 綾 部 雅 一  
生涯学習課長 山 本 晃 男  
スポーツ振興課長 田 島 慎 二  
図書館長 平 野 由 香  
博物館長 大 平 祐 一  
学務課庶務係長 米 田 晃
- 6 協議内容 (1) 紋別市の新型コロナウイルス感染症対応について

## 令和3年度 第1回紋別市総合教育会議 午後3時00分開会

### ○宮川市長

定刻になりましたので、令和3年度第1回紋別市総合教育会議を開催いたします。進行につきましては、私が務めさせていただきます。

それでは、次第に基づきまして、本日の協議に入らせていただきます。

協議事項（1）紋別市の新型コロナウイルス感染症対応について、教育長から説明をお願いします。

### ○堀籠教育長

それでは、今月の紋別市総合教育会議として、紋別市の2020年から2021年の新型コロナウイルス感染症の対応についてまとめさせていただきました。

百年に一度と言われる未曾有の災害でございます。まだまだ続いている最中でございますけど、こういったことをまとめまして、振り返って、今後の施策などに活かしたいと思ひまして、協議のお願いをしたところでございます。

私から資料の説明をしました後で、市民の皆様からの声や、こういったときの対応、今後の教育の在り方などについてご意見などをいただければと考えております。

まず、紋別市の状況でございます。こちらは、人口などはお読みいただければと思います。北海道が多く見えますが、人数の目盛りは東京が10倍になっておりますので、こちらで見ていただきたいのは、波が北海道の方が早く、4月頃に大きな波があります。北海道の波と全国的なものの波が違うということをご理解いただきたいと思ひます。北海道は、全国の中でも早く感染者が出ましたので、他の地域より早い対応が行われたと思ひます。

続きまして、北海道の中で紋別市がどういう状況だったかを振り返るため、紋別市近隣自治体の感染者発生状況を確認したいと思ひます。まず、北見市ですが、最初の感染者が出た日、クラスターの発生というのが、2月22日に道内17番目の感染者が出まして、北海道内最初のクラスターが北見市で発生しました。

続きまして、遠軽町でございます。遠軽町は、紋別市の隣になりますが、こちらにも病院でのクラスターや障がい者の支援施設にもクラスターが発生したということになります。紋別市周辺の自治体では、非常に早く感染者が発生しております。このことから紋別市民の間では、新型コロナウイルスに対する危機感が比較的早く、しかも身近で重大なものとして認識をされていたということが分かるかと思ひます。

これは、紋別での発生状況を表したものです。紋別市で感染者が発生したのは、年が明けた今年の1月と言われております。管内毎の発表なので、2021年の

1月以前にも発生していた可能性もありますが、はっきり分かっているのは、本年1月の初めでありました。紋別市は、近隣の自治体で感染者が出ていたので、危機感を持つのは早かったですが、感染者の発生は遅かったと言えます。

紋別市の一斉休校の流れです。昨年2月24日、北海道知事と道の教育長から呼びかけが行われましたが、まだ、このときは、それほどの切迫感は感じられるものではありませんでした。二日後の2月26日に、北海道知事から一斉休校の要請が行われました。紋別市では、2月27日午後、給食が終わってから休校といたしました。近隣の自治体では、2月27日の朝や28日など、バラバラでありましたが、こういったバラバラの対応が、報道機関や市民からの問合せが多くて、非常に対応に苦労した記憶がございます。

全国一斉休校では、休校の判断は自治体の判断ということが言われていますが、新型コロナウイルスのような公衆衛生の問題ですと、市町村が独自の判断をしようにも十分な情報がないかと思います。公衆衛生の情報は、都道府県知事が持っておりますので、都道府県知事の指示に従うことになるかと考えております。

続いて、昨年2月から3月の休校の状況です。3月からは、分散登校が行えましましたので、例年とは違う形ではありましたが、各校の卒業式を行うことができたところでございます。こちらは、4月から5月までの休校の状況です。北海道では、4月6日から4月17日まで、2週間通学することができました。入学式ができたことにより、新入生は担任の顔が見られましたし、教科書を渡すこともできました。初めの段階で、また休校に入ることは意識していたわけではありませんが、教科書を渡したことで、万が一休校に入っても、最低限の学習保障ができたと感じておりました。

紋別市では、児童生徒への学習保障策として、一部の学校で授業のYouTube配信やオンラインの朝の会なども行われましたが、多くの学校では、プリントの配布や電話での健康確認にとどまったところでございます。現在でも、各家庭での通信での勉強というところには、問題が残っているかと思います。

続きまして、紋別市教育委員会関係の各種会議の開催状況です。教育委員会は臨時会が大変多かったのですが、新型コロナ対策の補正予算が多かったので、臨時会を多く開催したということです。

次に、総合教育会議についてですが、基本的に毎月開催するようにしているところでございます。回数を増やしたことにより、教育行政の情報が出されることにより、一定程度、評価いただいているところですが、今後も実質的な協議が行われるように総合教育会議に臨みたいと思っております。

次に、校長会議です。昨年3月から6月までは、臨時の校長会議を多く行いまして、それぞれの学校の対応を考えたところでございます。一番右の教頭会議については、昨年2月、3月を休止したところですが、4月と5月については、Zoom

を使って遠隔で会議を行って、各学校にも遠隔のシステムの使用を呼びかけたところでございます。

続いて、これは北海道教育委員会と管内教育長の主催会議であります。テレビ会議ということも書いてありますが、実際は、網走まで行って会議をしております。感染予防という面では、適切な会議だったのではと考えております。5月以降は改善されまして、遠隔での会議も多くなってきたところでございます。

続きまして、紋別市役所の各種会議の開催状況でございます。一番左側の市議会を見ていただきたいと思いますが、定例では、年4回行われますが、去年は新型コロナ対策の補正予算のため、5回の臨時会が行われました。スピードを意識した対策が行われたと考えております。庁議及び感染症危機管理対策本部会議も大変スピーディな会議が行われたと考えております。

続きまして、紋別市の新型コロナ対策予算の状況で教育費関係を抜き出したものがございます。特徴的なのは、市議会定例会で追加という内容です。通常、市議会の会期の初日に補正予算を出すのですが、会期の最終日に追加として補正予算を出したということを示しております。多くは市議会議員との意見交換から出た対策の内容で、必要だと判断されると直ちに補正予算案として出したということです。通常の前算要求よりは、大変速いスピードですので、スピーディな対応ができたと考えております。学校関係におきましても、給食の中止の対応ですとか、扇風機、換気扇、手洗いの温水自動水栓化などをスピーディに行うことができました。一方、昨年、GIGAスクール関係の整備をしましたが、予算は8月なので、他の自治体と比べて、それほど早いわけではなく、こちらの方の対応では、それほどスピーディな対応ができなかったところが反省すべきところです。

これは、新型コロナ対策事業の報道記事です。北海道新聞や北海民友新聞に記事が多く掲載がされております。

次は、学校教育に関連するコロナでの取組です。学紋塾や夏休みパワーアップタイムなどもタブレット等を使ってやってきましたけれども、試験的な取組という形と思います。

続きまして、社会教育施設の対応状況です。お読み取りいただければと思いますが、学校と違いまして、休校のようなことが示されておられませんので、バラバラの対応だったかと思えます。住民の学習保障には、こうした施設の存在が不可欠だと感じています。

次に、留守家庭児童園の対応です。学校内に設置しておりますので、当初は学校と同様に休園の措置を取りましたが、保護者には、医療従事者や福祉施設従事者も多いので、病院や福祉施設の運営に支障があるため、直ちに開園するという対応を取ることにしました。

次に、生涯学習のコロナ禍での対応です。生涯学習の面でも、住民の学習保証

を図るために、職員からの提案で、ラジオ体操会や生涯学習情報誌を発行、それから、YouTubeでの情報発信をしたところでございます。

次に、図書館での対応です。教育関係施設の休館で、住民からクレームが最も多かったのは図書館でした。やはり、学校だけでなく、一般市民に対しても、学習の保障策が必要だと感じたところでございます。保障策の一環として、本の宅配サービスやドライブスルーでの貸し出しを行いました。図書館の取組についても、報道機関で数多く取り上げていただき、利用につながったと考えております。令和3年度から電子図書館も導入していきたいと考えております。

次に、体育施設です。体育施設もバラバラの対応だったと思いますが、一部開館とありますが、最初、トレーニングルームなどを閉めるなど、試行錯誤しながら対応した形となっております。体育の方でも、休校時点では、運動不足になるということで、屋外での散歩やジョギングなどがありましたが、スポーツ振興課でも、小山内コーチが室内でできる運動等を動画で発信する試みを行ったところでございます。

博物館やまちなか芸術館は、ほとんど休館となってしましまして、こうした先の見通しのつかない中でも、文化施設でも何かできなかったのか、課題があったと感じています。

以上で、昨年1年間の新型コロナウイルス、教育関係施設の対応をお話しました。市民の声、これからの教育にかかることなど、ご意見をいただければと思います。以上でございます。

## ○宮川市長

それでは、ただ今、教育長から説明をいただきましたが、これについてご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

## ○小林委員

先ほど教育長から、百年に一度の禍、感染症ということで、多分、百年前と言ったらスペイン風邪のことだと思えます。その時も、第一波と前期と後期というものがあるって、世界で約1億人が亡くなったと聞いております。原因は、医療の崩壊と言われております。現在は、医療の崩壊までには至っておりませんので、1億人に達することはないと考えておりますが、教育現場に対しては、授業に直接携わる学校の先生が、消毒などを一生懸命にやっております。働き方改革も言われているように、残業も多い中、更に仕事が増えている現状だと思います。まだ、このコロナがどのようなようになるか分かりませんが、できることは、地道にやっていく必要はあるかと思えます。

## ○上林委員

これから、変異株等を含めて、子どもにも感染する可能性が増えてきているということで、不安に思っている保護者も多いと思います。常に学校では、このような対応をしていますよというような案内を当然やっているかと思いますが、より一層、今取り組んでいることに対しての情報発信を、教育委員会も含め、市の方からも大人の方々に発信する必要がある、これからどんどんあるのではないかと思います。

それと、先ほどの報告事項にもありましたけれども、コロナでできなかった事業がたくさんありますので、今年に予定している事業に対して、どういう対策が必要で、どういった代替案が必要なのかというところも含めて、それぞれの課において考えていただいて、コロナだからと縮小するのではなく、参加を希望する方々には、安心して事業に参加していただけるような万全の対策を、それぞれの課で考えていただいて、今年一年進めていただくことが必要でないかと思っております。

## ○渡邊委員

先ほど、教育長が言われたように、紋別以外の自治体の感染が早かったために、非常に危機感を持って対応していった結果、紋別の感染が非常に少なかったわけですが、その反面、いろいろな行事、例えば、修学旅行も中止になってしまったり、成人式もそうですが、これで、これに替わる何かを講じて、以前のようにはならないと思いますが、手段を講じて同じような事業ができればと考えております。そこが知恵の出し方だと思いますが、恐らくワクチンが行き届くまでは、この状態がずっと続くと思います。そこで手段を講じて、市民からアイデアをいただくのも一つだと思いますし、従来とは違った方向で、何か対策を講じた方がいいのではと思います。感染が少ないことはいいことだと思いますが、この先また続いてくると、気の緩みが出てきて、また感染が出ないとは言い切れませんので、気を引き締めつつ、新たな何か展開を考えていけたらと思います。

## ○古屋委員

去年の一斉休校で、学校に通える有り難みを、すごく大切だと感じまして、コロナはまだまだ付き合っていかななくてはならないと思いますが、感染対策をしながら、学校と家庭と、そして子ども達が、学べる環境があると良いなと思います。

## ○宮川市長

これだけ休みがあって、1年間の学習計画に支障というのは、なかったのでしょうか。

## ○綾部指導主事

各学校が行事を削減したことがありまして、昨年度1年間で、学習の漏れは一切ありませんでした。やはり、行事ができなかったことがあります。

## ○宮川市長

このコロナの状況の中では、現時点においては、昨年度と変わっていないのですよね。それで、ワクチンがどれくらい早い段階で、接種できるということですが、近々、ワクチン接種室の方で、公表されると思いますけど、恐らく今の段階では、65歳以上の方の接種が6月に入ってからの見通しであります。その前に、2箱ぐらいは来ますので、医療関係者は別として、65歳以上の関係の部分については、福祉施設など入所者を含めた中で、手一杯という形になりますので、港まつりについても、厳しい状況です。65歳以上の方以外の方が、ワクチン接種ができるようになるのは、年内は厳しく、年度内になるのではと感じておりますので、引き続き、この危機対策というのは、昨日も会議を開きましたけど、継続していかなければと考えております。

今日の新聞報道にもありましたが、感染者の公表というものが、北海道で変更するという報道がでましたので、先般、道北の9市が集まる道北市長会で議題になりましたが、その中でも市町村名を出していくということが、やはり市の対応も含めて、やりやすい状況になりますので、市民周知も含めて、市民の意識も変わるのでは、そのような方向になると思います。実質的には、新聞報道で出て、具体的な部分は、市町村に通知がきていないので、こういった形での公表になるのかは分かりませんが、あくまでも個人情報に配慮した形になると思いますので、そういう部分では若干変わりますが、常に危機感を持ってやっていただきたいと思います。また、そういう部分で、例えば、体温計一つについても、備品がある程度、購入できるような状況になってきたら、必要であれば、そういった備品も今のうちにそろえることも必要なのではと思います。市役所は、毎日、私も含めて検温しておりますので、学校でも、それぞれの家庭で検温が難しいのであれば、学校で多くそろえるなど、そういったことも検討されたらいいのではと思います。体温計だけではないですが。

先ほど、教育長が言いましたとおり、去年は本当に、定例会でも追加補正をしたり、臨時会でやったりしまして、良いと思ったことについて即時に予算を組んできたという現状がありますが、なかなか購入できなかったり、確かにそういった部分はありましたので、また、今のうちに、いろいろ備えていくのも大切なのではと思いました。そういう面で、皆様の方で、こういったことというものがあれば、教育委員会に言っていただければと思います。小林委員、医療関係のワクチ

ン接種は、終わりましたか。

### ○小林委員

まだ終わっていません。終わったのは、広域紋別病院と曾我さんぐらいだと思います。

### ○宮川市長

予定はどうなっていますか。

### ○小林委員

3月8日からできますと保健所から聞いていましたが、未だに連絡がありません。

### ○宮川市長

テレビでは、65歳以上の方のワクチン接種について報道がたくさんありますけど、来ていない市町村には、怒られてしまいますよね。ワクチンが届いていませんから。

### ○堀籠教育長

皆様のご意見を聞いていると、事業はある程度できましたが、行事ができませんでした。子ども達は、行事でいろいろ学ぶ面があると思いますので、ワクチンの話を聞いていると、子ども達までワクチンが回るとなると、更に年数がかかるということで、数年間は、コロナウイルスのことを意識しながら学校行事をやっていかなければならないと、改めて考えていかなければならないと思います。これから患者の発生について、市町村名が出されるということは、個人の特定につながるということで、学校も差別的なものがあることが出てくることも心配されるので、学校についても、そういったことがないように、先生を通じて対策を採っていかなければならないと感じたところです。

### ○宮川市長

誹謗中傷するなど言っても、されますよね。ですから、市民の団体の皆様が、応援メッセージという形で、り患した方や病院などを含めて応援する雰囲気づくりが非常に大切で、そういったことをやっていくと、今度は、誹謗中傷した人間が、非難されるという形になってきていて、そういった意識を学校の子ども達にも、同じような気持ちになってくれたらと思います。するなというのではなく、違う形で、進めていかなければならないということが、大切だと思いました。



## ○竹本企画調整課長

私の課が人権擁護の担当をしております、毎年、各学校に人権教室という形で、人権擁護委員に行っていることがあるのですが、去年は、コロナの関係があって、実施ができなかったのですが、今、市長や教育長から出た中傷など、そういったことを言うことによって、逆に跳ね返ってきます。今だからこそ、子ども達にしっかり伝えられる機会かなと思っております。我々も人権擁護委員と話をしながら、そういった、今だからできる教育、取組ができるのであれば、良いのかなと思っていきますので、いろいろと相談させていただければと思います。

## ○宮川市長

昨年、市内の中学校からクラスでガリンコ号に乗れないのかという相談がありました。もちろん無料で。もし、そういった要望があれば、言っていただければ、特に夏は、配慮いたしますので。子ども達に対して、少しでも思い出を残せてあげられるようなことがあれば、遠慮なく言ってください。

## ○渡邊委員

今の時期は、逆に捉えてチャンスだと思います。そういったことをやると。ふだん地元にあるから行かない、すぐに行けるから行かないということがあると思います。この機会に是非というのがあります。

## ○宮川市長

地元を見つめ直す良い機会になりますね。そういったことも考えながら、子ども達のために、何が良いのかということが、一番です。

その他、よろしいでしょうか。事務局の方から、何かございますか。

## ○事務局

ありません。

## ○宮川市長

それでは、以上をもちまして紋別市総合教育会議を終了いたします。どうもご苦勞様でした。

午後 3 時 3 4 分終了